

# 和歌山の魅力資源を活用したインバウンド推進事業（R5～R7年度）

令和5年度  
第1回募集

|                                    |   |                                    |                            |
|------------------------------------|---|------------------------------------|----------------------------|
| <p>事業タイプ・類型</p>                    | <p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>   | <p>期間中の総事業費<br/>(カッコ内はR6年度事業費)</p> | <p>244,696千円（85,529千円）</p> |
| <p>目的（効果）</p>                      | <p>地域特有の資源を活用したコンテンツの創出・誘客の促進により、市内全体の周遊につなげ国内外からの誘客をはかるとともに、県内の中でも「観光地として選ばれるまち」を目指し、多世代交流、滞在時間延長と消費を促す仕組みを構築し、交流人口と市内消費の増加を目指す</p>  |                                    |                            |
| <p>具体的使途・実施体制<br/>※金額はR6年計画ベース</p> | <p>①自然・歴史・文化等の磨き上げによる集客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画「サマータイムレンダ」の舞台になっているエリア周辺に関連する観光資源の活性化を行い、ロケツーリズムの促進を行う：28,674千円</li> <li>・日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」の知名度を向上させ誘客に繋げる施策として、地元にてイベントの開催や参加型のワークショップや専門家による狂言や能の操演等を行う。また、同じく日本遺産に認定された「葛城修験」等をテーマにした特別展示を市立博物館にて行う。：16,772千円</li> <li>・和歌山市内への誘客・周遊を促進するため、文化・アートのまち和歌山を目指し、市内中心に位置する和歌山城ホールにて、通行者からも見える形で公募したアートを展示し、観光客や通行客が気軽に足を運べるイベント等を実施するとともに、市内各所を自転車で周遊するスタンプラリー（サイクルマップ作成含）を実施する。：4,513千円</li> <li>・和歌山市への観光誘客へ繋げるプロモーション事業として、和歌山城のPRや、SNSやインターネット等による広告発信、本市の魅力的なスポットを撮影した映像を活用したプロモーション（委託費及び役務費）、観光コンテンツ等の発信・案内サイト整備（事業補助金 補助対象：和歌山市観光協会、対象経費：委託費・保守運営費、補助率：10/10、補助上限：6,600千円）を行う。：8,898千円</li> <li>・和歌山城周辺で観光客の誘客を目的に和歌山音楽大行進を実施し、市内での観光消費額の増加につなげる：2,858千円</li> </ul> |                                    |                            |

具体的使途・実施体制  
※金額はR6年  
計画ベース

②大阪・関西万博を契機としたインバウンド等の回復

- ・和歌山市観光協会において、外国人観光客へのPRや市内体験型観光のインバウンド向け商品の事業者間調整等を行う。：6,731千円
- ・大型外国船の入港（年間1回程度）に合わせて、入港のセレモニーやイベント開催などおもてなしを行う、また、地元和歌山市の名産品の販売・観光案内・飲食ブースの出店とPRを行う。：1,698千円
- ・近隣国で訪日外客数の実績からもっとも効果的にPRが行うことができる台湾や姉妹都市等へ向け、和歌山市産物品や観光等のパンフレットの設置、ニーズに合った記事掲載や広告掲載SNS情報発信などを行う。：13,785千円
- ・市内事業者の海外展開に加えゼロ和歌山との連携事業として大阪関西万博を目的に来日する外国人客を和歌山県に呼び込むインバウンド誘致を実施する。：1,600千円

# 地域の魅力を活かしたサステイナブルな移住定住促進プロジェクト（R5～R7年度）

令和5年度  
第1回募集

|   |   |                                    |                            |
|---|---|------------------------------------|----------------------------|
| <p>事業タイプ・類型</p>                         | <p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>   | <p>期間中の総事業費<br/>(カッコ内はR6年度事業費)</p> | <p>182,162千円（54,569千円）</p> |
| <p>目的（効果）</p>                           | <p>市内の人口減少に歯止めをかけるため、移住支援体制の強化や、安心して就労でき、暮らすことのできる環境の整備、また、本市の「海」や「和歌山城」といった重要な地域資源を今後も活かしていくことで、人の流れを生み出し、誰もが住みやすく、住み続けたい、働きたいと思える持続可能な地域づくりの実現を目指す。</p>   |                                    |                            |
| <p>具体的使途・実施体制<br/>※金額はR6年<br/>計画ベース</p> | <p>1. 移住希望者とのマッチングの強化<br/>本市の移住に対するイメージ及び認知度を向上させ、本市内への移住定住を促進するため、SNSやHPなどのメディアを駆使した都市圏へのPRを行い、移住潜在層・検討層を対象とした交流イベントの開催やデジタル技術を活用した地域とつなぐコミュニケーションツールの導入など、効果的なシティプロモーションを行う。</p> <p>①移住マッチング事業：495千円<br/>②シティプロモーション事業：7,094千円<br/>③デジタル技術を活用したコミュニケーション事業：3,190千円</p> <p>2. 将来的な移住・定住を見据えた働き手・担い手の確保と育成<br/>大学進学を機に都市部に転出した人等をメインターゲットとし、就職等の転機において本市に回帰できるよう、市内・市外・オンライン等で女性を含む幅広い年齢層の方と企業間のマッチング強化を図る等、U I Jターンや定住を見据えた市内就職を促進する。<br/>また、本市の重要な資源である「海」や「和歌山城」等の魅力を更に磨き上げ、守りながら持続的に活用していくための取組に加え、次世代の担い手である地域の子供や学生に対し、出前授業等を行いながら、これらの資源に対する学習を深め、地域への愛着づくりに取り組む。また、関連したテーマの教材等を作成し、新たな魅力再発見を行い、観光地としてのコンテンツ開発やシビックプライドの醸成により、地元定着につなげる。</p> |                                    |                            |

具体的使途・実施体制  
※金額はR6年  
計画ベース

- ①就職応援事業：9,638千円
- ②和歌山城おもてなし共創事業：15,101千円
- ③子ども海かいぎ事業：2,236千円
- ※教材作成は当該交付金外で実施予定
- ④アプリを活用した紀伊路ウォーキングイベントの開催やPR動画による熊野古道の魅力向上事業:1,815千円

### 3. 居心地の良いまちづくり

居心地がよく歩きたくまちなかの実現に向けた空間デザイン計画を基に、沿道建物の修景整備や、そのほか低未利用の民間空地と公共空間の一体的な活用等を検討する。

また、郊外エリアからまちなかエリアへの新たな交通手段について、1年目に行った実証結果を踏まえた分析、本格運行へ移行するための地域における準備を進める。

- ①都市空間デザイン事業：0千円
- ②コミュニティバス運行検討事業：15,000千円

# スマートシティの推進による持続的な産業まちづくり（R5～R7年度）

令和5年度  
第1回募集

|   |  |                                    |                            |
|---|--|------------------------------------|----------------------------|
| <p>事業タイプ・類型</p>                         | <p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>  | <p>期間中の総事業費<br/>(カッコ内はR6年度事業費)</p> | <p>145,640千円（55,109千円）</p> |
| <p>目的（効果）</p>                           | <p>・本市におけるスマートシティ実現に向けた取組を推進し、本市が住みたい・働きたいまちとして選ばれ、持続的に成長できるまちを目指す。<br/>・地域課題や行政課題の解決に繋がる市内DX等を推進するとともに、第一段階としてまずは稼げるまちづくりを形成する。</p>   |                                    |                            |
| <p>具体的使途・実施体制<br/>※金額はR6年<br/>計画ベース</p> | <p>①スマートシティの実現に向けた市内DXの推進<br/>(ソフト事業経費)<br/>1年目で明確化した地域課題、行政課題等を解決するため、スマートシティの実現に向けた先端技術導入前の実証実験に係る経費について民間事業者等への支援を継続するとともに、行政課題を解決するための実証実験を実施する。<br/>また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活様式や消費行動等が変化する中で、生産性を向上させるためのデジタルツール導入等を支援するとともに、セミナー開催を通じデジタル技術活用に係る情報提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目に明確化した課題に対する実証実験等：6,095千円<br/>事業主体：IT事業者等民間事業者<br/>補助対象経費：消耗品費、謝金、広報活動費、賃借料等<br/>補助率：2分の1<br/>補助上限：500千円（ハード事業含めた上限）</li> <li>・市内事業者デジタル化推進事業：5,142千円<br/>事業主体：和歌山市<br/>補助対象経費：ソフトウェア購入費、外注費・委託費、クラウド利用費、研修費等<br/>補助率：2分の1<br/>補助上限：1,000千円</li> <li>・生産性向上支援事業：460千円</li> </ul> |                                    |                            |

具体的使途・実施体制  
※金額はR6年計画ベース

①スマートシティの実現に向けた市内DXの推進  
(ハード事業経費)

・実証実験に係る経費：1,000千円

事業主体：IT事業者等民間事業者

補助対象経費：設備備品費等

補助率：2分の1

補助上限：500千円（ソフト事業含めた上限）

・生産性向上支援事業：20,000千円

事業主体：製造事業、物流関連事業、IT等サービス業、旅館・ホテル、レクリエーション事業を営む民間事業者

補助対象経費：機械装置・器具備品等

補助率：20分の1

補助上限：5,000千円

②大阪・関西万博を見据えた新たな地場産品のセールス

2025年に開催予定の大阪・関西万博に向け、機運の醸成に取り組む。

地域産品の魅力向上と販路拡大を支援し、自社製品の改良・販路開拓、新製品のPR等に係る経費について支援する。

・販路開拓支援事業：10,400千円

事業主体：中小企業者等

補助対象経費：出品料、通信運搬費、印刷製本費、会場借上げ費、広告宣伝費等

補助率：2分の1

補助上限：1,000千円

・姉妹都市等へ向けた販路拡大支援：6,772千円

・地場産品PRの強化：5,240千円

事業主体：和歌山商工会議所

補助対象経費：地場産品のPR・販売のためのイベント運営に要する経費

補助率：2分の1

補助件数：1件（予算の範囲内）

# 若者世代を中心としたまちづくりによる次世代人材育成プロジェクト（R6～R8年度）

令和6年度  
第1回募集

|   |   |                                    |                             |
|---|---|------------------------------------|-----------------------------|
| <p>事業タイプ・類型</p>                         | <p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>   | <p>期間中の総事業費<br/>(カッコ内はR6年度事業費)</p> | <p>261,805千円（104,375千円）</p> |
| <p>目的（効果）</p>                           | <p>若者世代が和歌山市で学び、和歌山市で働くことが叶い、夢や希望を持ちながら潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成するとともに、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進することで、急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能で未来に希望の持てる和歌山市の実現を目指す。</p>  |                                    |                             |
| <p>具体的使途・実施体制<br/>※金額はR6年<br/>計画ベース</p> | <p>①若者と地域をつなぐまちづくり体制の構築と活動の促進<br/>魅力的なまちづくりを進め、学生やNPOなど様々な主体が連携する拠点の設置や活動支援を行うため、住民主体、民間連携に向けた体制づくりを行うもの。<br/>・勉強会・相談会等の開催にかかる経費（委託料）：2,376千円</p> <p>まちなかに位置する本市シンボルである和歌山城周辺のオープンスペースを活用し、本市の賑わい創出と愛着醸成を図る。<br/>・子どもや若者を中心としたVR防災体験や各団体の紹介コーナー等の催しに係る経費（委託料）：750千円<br/>・若者に対して集客力のある著名人を招聘し、地元の産品をPRするイベント開催に係る経費（交付金）：35,000千円<br/>交付対象者：官民で構成する実行委員会、対象経費：和歌山市のPR部分として、市ステージ・ブース、広報費用、事前・事後イベント等に係る経費、補助率：10/10、補助上限：35,000千円<br/>・和歌山城ホールにおいて、将棋タイトル戦を誘致し、子どもや若者等が参加可能なプロ棋士による教室やトークイベントを開催し、市のPRを実施するための経費（交付金）：16,104千円<br/>交付対象者：官民で構成する実行委員会、対象経費：運営費・会場費・謝金・広報費等のイベント開催に関する経費、補助率：10/10、補助上限：16,104千円</p> <p>和歌山城敷地内の堀において、発信力のあるテレビ番組が参加し、住民参加型の清掃イベントを実施することで、本市シンボルである和歌山城への愛着醸成とPRを図る。また、イベント実施に向けて必要な樹木剪定等を実施する。<br/>・和歌山城において住民参加型のイベントを開催するとともに、敷地内の美観化を実施する。（委託料、諸資材費）：8,317千円</p> |                                    |                             |

具体的使途・実施体制  
※金額はR6年  
計画ベース

和歌山市、JR西日本、和歌山県が中心となり、本市の主要駅であるJR和歌山駅及びその周辺の更なる賑わい創出に向け、駅周辺の利活用など今後の在り方について調査・検討を行う。

・駅前広場の機能強化・商店街等を含むまちなかの活性化について、若者を含む関係機関と共に検討に要する経費（委託料）：10,280千円

若者世代等の市内企業への就職を促進するため、未経験者向けの基礎的な研修からIT部門への就職を想定した専門的なデジタルスキルを段階的に学べる研修を実施するとともに、受講者に対する就職支援として専門アドバイザーの設置と、企業と受講者への意向をヒアリングし、マッチング等を図る。

・研修及び企業へのマッチングを実施に係る経費：（委託料）：6,982千円

②空き家・空き店舗など地域資源を活用した担い手不足の解消

個性のある魅力的な商店を集め、人が行き交い賑わいのある商店街とすることを目的に、以下の事業に対して支援を行う。

・新たな試みをする商業関連の事業者を支援する。（補助金）：4,000千円

①商店街や商店街の個店等が商店街の魅力を発信するために新たに実施する事業（商店街魅力発信事業）に対し補助する。補助率1/2、補助上限500千円（個店の場合は100千円）

②商店街や都市再生推進法人等が実施する、夜間における賑わいの創出が見込まれる事業（ナイトタイムエコノミー振興事業）に対し補助する。なお、けやき大通りイルミネーションと連携して実施する、まちなかの回遊性と魅力向上が見込まれる事業については補助上限額を上乗せする。

補助率1/2、補助上限300千円（個店の場合は100千円）

（上乗せ補助上限 200千円）

本市での開業を目指す人々を対象に、2日間限定で出店を行うことができるイベントを開催し、新規出店にチャレンジしやすい環境をつくる。

・空き店舗等を活用したイベントを実施する。（委託料）：2,965千円

具体的使途・実施体制  
※金額はR6年  
計画ベース

本市の魅力ある居心地のよいまちづくりに向けて、商店街での他都市事例に関する講演やまちなかエリアの公園を活用した若者に向けたイベント開催など、官民連携による地域主体のまちづくりを推進し、担い手となる実施主体への新たな取組に対し支援する。

・本市の若者への魅力向上に資する活動を支援する。（補助金）：2,920千円（【補助対象者】都市再生推進法人及び歴史的風致維持向上支援法人【補助率】10分の10（事業の実施に伴い収益が発生する場合は、2分の1）【補助対象事業】都市再生特別措置法第119条及び地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第35条に規定する業務に係る事業）

本市の主要駅の一つである南海和歌山市駅の近傍に位置し、現在遊休公共施設となっている旧和歌山市民会館において、民間活力を最大限に活用し、南海和歌山市駅周辺の更なる賑わい・交流の創出や都市機能の充実を図るため、不動産鑑定を実施することで、民間事業者へのスムーズな貸し出し等へつなげる。

・旧市民会館の不動産鑑定に係る経費。（委託料）：2,681千円

空き家を活用した移住の促進を図るために、県外から移住する際に必要な支援を実施するためのサポーター（移住相談や引っ越しの手伝い、空き家の掃除やリノベーションの支援などのトータルサポーター）を設置する。

・空き家を活用した移住サポーターを設置するもの。（委託料）：12,000千円

# 大阪・関西万博を契機としたわかやまし観光拡大プロジェクト（R6～R8年度）

令和6年度  
第1回募集

|   |   |                                    |                             |
|---|---|------------------------------------|-----------------------------|
| <p>事業タイプ・類型</p>                         | <p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>   | <p>期間中の総事業費<br/>(カッコ内はR6年度事業費)</p> | <p>382,420千円（162,774千円）</p> |
| <p>目的（効果）</p>                           | <p>関西国際空港からのアクセスの良さ等の地理的利点を生かし、外国人が旅ナカだけでなく旅マエから本市の見どころを認識できるような情報発信や、外国人観光客のスムーズな受け入れのための体制づくり等を通して、大阪・関西万博を契機とした外国人観光客の増加に努めるとともに、外国人観光客の周遊を促進し、滞在時間・消費額の増加を図る。</p>   |                                    |                             |
| <p>具体的使途・実施体制<br/>※金額はR6年<br/>計画ベース</p> | <p>①インバウンド獲得に向けたプロモーション<br/>・SNSなどのデジタル技術等を活用し、アジア圏を中心とするインバウンド等に訴求する情報発信を行う。（事業補助金、負担金、委託料）：22,815千円<br/>インバウンド等の誘客促進に向けて、SNSを活用した効果的な情報発信・分析手法について学ぶ女性をターゲットとした講演や、若者を対象に本市の観光情報発信力強化に向けたアイデアミーティング等を行う。<br/>大阪・関西万博開催に向けて地域への関心が高まる中、県・市町村・観光に関わる団体、事業者等が相互に連携し、地域の観光資源を磨き上げるデジタルスタンプラリー等の誘客宣伝活動を展開し、各自治体・事業者間の連携を強化する。<br/>インバウンド向けの多言語対応メディア含む各種観光情報発信媒体の更なる効果的な活用に向け、ウェブサイトの掲載内容の充実化に向けた見直しや検索エンジンにおいて優位に情報を発信するためのSEO対策等を実施する。（実施主体：和歌山市観光協会等）</p> |                                    |                             |

具体的使途・実  
施体制  
※金額はR6年  
計画ベース

・インバウンドを中心とする観光客が市内の魅力的なコンテンツに関する豊富な情報を入手することのできるパンフレットを制作する。

（印刷製本費、委託料）：16,778千円

本市の魅力あふれる観光地、歴史、自然、食等を紹介するとともに、本市を訪れる観光客に対して詳細な観光情報を提供できるようにそれぞれの情報に特化したパンフレットを作成する。

大阪・関西万博に向け、更なるインバウンド客の増加が期待される中、観光プロモーション用のパンフレット等について多言語化（簡体、繁体、英語等）を行う。

制作したパンフレットについては、関西国際空港に最も近い県庁所在地としてのメリットを生かし、市内観光地・本市の玄関口となる関西国際空港などの観光拠点で配布する活用方法のほか、各旅行エージェントへの営業を強化していくための営業資料、積極的に旅行展示会等において配布することで、本市の露出度・知名度を高めるためのツールとして活用する。

②核となるコンテンツの磨き上げと回遊性向上に向けたしくみづくり

・本市の魅力的な観光資源を活用し、インバウンド等に訴求する和歌山市ならではの体験できる事業を実施する。（補助金、委託料）：52,451千円

海をはじめとする本市の豊かな自然環境を活用した体験プログラムや観光コンテンツ造成に向けた1年目の試行的な取組への支援を実施する。

（対象事業：①体験コンテンツ造成事業、②店舗周遊等を目的とした消費促進事業、③城内でのイベント等の誘客事業、④その他観光面で本市に波及効果が見込める事業、補助率：1／2）

和歌山城公園動物園を活用し、民間事業者とともにアイデアの考案、取組による「稼ぐ力」を発揮し、1日飼育員体験や1日獣医師体験等のような、和歌山城における滞在時間の延長に繋がる新たな稼げる体験コンテンツの創出を進める。

具体的使途・実  
施体制  
※金額はR6年  
計画ベース

・本市の重要な観光拠点である和歌山城を中心に、インバウンド等の観光客の滞在時間を延長する仕掛けとなる、新たな観光コンテンツの創出を目指す。（委託料）：53,412千円

インバウンド消費を増加させる戦略として有効とされるナイトタイムコンテンツを拡充させるため、夜間の利活用が乏しい和歌山城の関連施設（天守閣等）について、主要幹線に面している和歌山城の北堀や、和歌山城公園内の園路、名勝庭園等で、アート性の高い光による演出を行うと共に、城内においてライトアップと関連したイベントを実施する。また、城内施設の夜間活用（和歌山城天守閣の夜間貸出等）を促進し、夜間の和歌山城の魅力向上を進める。

これにより、インバウンドの誘客を促進するほか、本市の重要な観光拠点である和歌山城について課題の一つである夜間を含めた滞在時間の延長につなげる。

・インバウンド等観光客の玄関口である主要な拠点において、多様なニーズに対応する観光案内サービスを展開、情報収集・分析を行うとともに、市内各地に点在する観光スポットをつなぐ周遊を促す空間づくりを行う。（負担金、委託料）：17,318千円

本市の玄関口となる、JR和歌山駅や関西国際空港、観光の重要拠点である和歌山城において、アジア圏を中心とするインバウンド等が安心して本市を巡ることのできる観光案内サービスを展開するとともに、各種観光情報を発信する。また、大阪・関西万博の開催による大きな動きに備え、今後のインバウンド需要に対応できるよう、外国人の訪日意識調査や、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から復活しつつある最新のインバウンド事情の分析を行う。（実施主体：和歌山市観光協会等）

JR和歌山駅、南海和歌山市駅、和歌山城周辺において、市民団体と連携しながら、フラワーアートによる和歌山市らしい良好な景観の創出及び維持管理を図り、来訪者へのおもてなし力を強化する。

本市の玄関口であり、市内の周遊における重要な拠点となるJR和歌山駅において、人々の動線や市内周遊の拠点となるバスターミナルエリア等について、回遊を促す仕掛けとして作用するイルミネーションを実施することで、本市を訪れた観光客をJR和歌山駅から市内の魅力豊かな飲食店や娯楽施設へ誘導し、JR和歌山駅を中心に展開する夜間における人の流れを促進する。